

スーパーコンピュータ「不老」可視化システム ～様々な表示デバイスや多彩なソフトウェアが利用可能～

1. 概要

本センターでは、2020年7月1日にスーパーコンピュータ「不老」を稼働させました。このパンフレットでは「不老」とあわせて利用可能な**可視化システム**について紹介します。

- 185インチ大画面のタイルドディスプレイを使った高精細 8K 可視化が、Windows 環境と Linux 環境から利用できます。
- 180インチの大スクリーンを使った立体視が行えます。
- ドームマスターを使った広視野の可視化が行えます。
- AWS と同じツールを使ったリモート可視化が行えます。
- 可視化室と利用者支援室が無料で利用できます。
- データの可視化に関する技術支援が受けられます。

2. 提供するストレージ資源

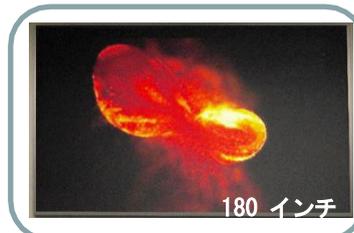
●ハードウェア

■ 高精細可視化システム



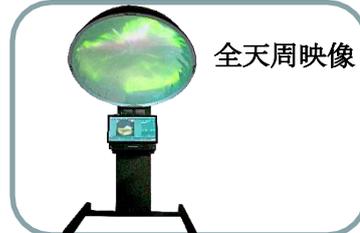
8K タイルドディスプレイ

■ 円偏光立体視システム



円偏光立体視システム

■ ドーム型ディスプレイシステム



高視野角(180度)を使った没入感のある可視化

■ 遠隔可視化システム



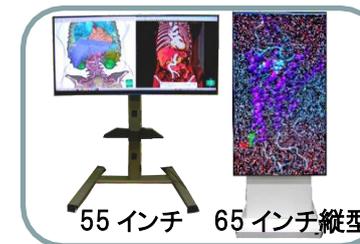
遠隔地(インターネット)から対話形式で可視化を行うためのツール

■ 利用者支援室



端末、画像処理、Pre/Post 処理、ファイル転送

■ サイネージディスプレイシステム



●ソフトウェア（下線ソフトは企業利用不可）

汎用可視化： AVS/Express, MicroAVS, FieldView, Paraview, 3DAVS Player

分子可視化： VMD, PyMOL,

動画像 : ffmpeg, ffplay

レイトレーシング： POV-Ray

リモートセンシング： IDL, ENVI (SAR 衛星対応)

トモグラフィ, 顕微鏡, MRI 等の材料科学データの可視化： Amira-Avizo

3D データ生成・加工（医療画像対応）： Materialise 3-matic

3D モデリング作成 : 3dsMax

流体解析用メッシュジェネレーター： Pointwise

CAE 統合ソフトウェア： HyperWorks の Pre/Post ソフト

統合開発環境 : Visual Studio Pro, OpenSceneGraph

リモート可視化 : NICE DCV

3. 料金

「不老」のアカウントをお持ちであれば可視化室と利用者支援室が無料で利用できます（ソフトウェアと機器も含む）。施設利用は予約制です。

4. 利用の流れ

共同利用担当まで利用を希望する設備や日時についてご相談ください。

「不老」のアカウントを入手するには利用申込書を提出ください。利用承認後、営業時間約10日でアカウントが発行されます。

5. サポート体制

ご質問や技術支援、コンサルティングなど。

- **Web 受付 Q&A SYSTEM**

<https://qa.icts.nagoya-u.ac.jp/>

- **面談相談**

情報基盤センター教職員、ベンダー等が対応します。

- **講習会・セミナー実施**

<https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/kousyu/csview2.cgi>

6. 利用申請・案内・利用規定・負担金規定

スーパーコンピュータ「不老」ホームページをご参照ください。

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/>

7. お問い合わせ先

名古屋大学 情報基盤センター 共同利用担当（山田・高橋）

電子メール kyodo@itc.nagoya-u.ac.jp 電話 052-789-4354